

【2014年4月1日から2017年7月31日まで呼吸器腫瘍内科にて治療を受けた患者さん、およびご家族のみなさんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

## 【研究タイトル】

進行非小細胞肺癌に対する PD-1 阻害薬<sup>\*1</sup>投与後の化学療法の有効性及び安全性を検討する後方視的多施設研究

\*1:PD-1 阻害薬とは：免疫の活性・抑制を司る免疫監視機構の一つである、免疫を抑制に作用するPD-L1とPD-1受容体の結合を阻害する抗体であり、がんがPD-L1を産生しており、この阻害作用により免疫の抑制が解除され、本来の免疫活性を取り戻すことを目的としたがん治療薬です。

## 【研究背景・目的】

この研究は、進行/再発非小細胞肺癌の患者さんを対象として、PD-1 阻害薬投与後に、次の治療として化学療法が行なわれた群と前の治療の際にPD-1 阻害薬の投与を受けずに化学療法が行なわれた群の抗がん剤の効果を過去に遡って比較し、PD-1 阻害薬投与後の化学療法の有効性及び安全性を検討します。

## 【研究期間・取得情報】

- ・ 研究期間：2017年12月19日から2019年6月30日
- ・ 対象：2014年4月1日から2017年7月31日までに呼吸器腫瘍内科で治療を受けた患者さん
- ・ 取得情報：年齢、性別、喫煙歴、病理組織、合併症の有無、手術・放射線治療歴、EGFR/ALK遺伝子変異の有無、PD-L1発現、病期、抗がん剤治療（投与期間、治療効果、安全性）、生存期間

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

## 【研究組織】

- ・研究責任者：飯塚病院 呼吸器腫瘍内科 海老 規之

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 呼吸器腫瘍内科 海老 規之  
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83